⑩日本園特許庁(JP)

①特許出願公開

### ⑤ 公 開 特 許 公 報 (A) 平3−244238

Sint. Cl. 3

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成3年(1991)10月31日

H 04 J 3/01

3/07 3/14 7925-5K 7925-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

**公発明の名称** スタツフ多重変換装置

**和特 魔 平2-41463** 

②出 願 平2(1990)2月22日

@発明者 小類

康 敬

神奈川県鎌倉市大船5丁目1番1号 三菱電機株式会社通

信システム研究所内

勿出 顧 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

四代 理 人 弁理士 田澤 博昭 外2名

明 網 4

1. 発男の名称

スタッフ多重変換装置

2. 特許請求の範囲

受信した低次群信号のデータ信号を、当該低次 群信号のクロック信号に従って書き込むパッファ メモりと、前配パッファメモりより前記プータ像 号を、競み出しタロック信号に従って競み出して 多重化し、高次幹値号として伝送路へ送出する多 重化回路と、前記多重化回路に前記表み出しタロ ック信号の基となるクロック信号を与える高次群 発展器と、前配低次群信号のクロッタ信号と前配 数み出しクロック信号の位相を比較する位相比較 着とを備えた送信装置を有するスチッフ多重変換 装置において、前記送信装置に、前記位相比較器 の位相比較結果に基づいてスタッフ率を検出し、 造款スタッフ率をあらかじめ設定された基準値と 比較し、その比較結果に基づいて前配高次界発掘 器の出力関放数を制御するスタッフ率検出回路を 数けたことを停敬とするメタッフ多重変換装備。

2. 発明の詳細な説明

〔 世業上の利用分野 〕

との発明は、低次排信号の周波数の変動に関係 なく一定のスタッフ事で送信を行うスタッフ多重 変換機能に関するものである。

【従来の技術】

第2図は例えば、「やさしいディジタル伝送」 (昭和59年4月株式会社オーム社発行P.108) 化示された従来のスタッフ多重変換装置を示すプロック図であり、図において、1はその送信装置、 2は受信装置であり、3はこの送信装置1と受信 装置2とを接続している伝送路である。

送信無量1内にかいて、11以外部より入力された低次評信号のデータ信号Dが当該低次評信号のクロック信号WCK従って書き込まれるペッファメモリである。12以このペッファメモリ11から、前記データ信号Dを被み出しクロック信号BCK従って読み出し、その問期化された同期化データ信号を参加して生成した高次評信号を公送的3K送出する多重化同路である。13以

の多重化回路 1 2 に前記 訳み出しクロック信号RC の基となるクロック信号 C K を供給する 高次群発 扱器である。 1 4 はデータ信号 D をバッファメモリ 1 1 に書き込むためのクロック信号 W C と、多重化回路 1 2 がバッファメモリ11 から同期化データ信号 a を読み出すための飲み出しクロック信号 R C の位相を比較し、その比較結果に応じてスタッフ要求信号を生成する位相比較器である。

み出しクロック信号RCK従ってそとK書後されているデータ信号が同期化データ信号 d として飲み出され、多重化回路 1 2 は較み出された同期化データ信号 d の多重化およびフレーミングを行い、それを高次群信号として伝送路 3 K送出する。

 する低域が被器である。 2.5 はこの低域が被器 2.4 にてフィルタリングされた位相比較器 2.8 の出力信号が入力され、当該低域が被器 2.4 からの信号の電圧値によって発振周波数が創御される電圧制御発振器で、その発振出力は前記パッファメモリ2.2 に前記読み出しクロック信号R.C.として供給される。

次に動作について説明する。ことで、このよう なスタッフ多重変換装置では、通常多重化される 低次群信号が複数チャネルより成り立っているが、 ここでは簡略化のため、単一チャネルについての 今回示している。

送信装置1ド外部より低次都信号が入力されると、当該低次都信号のデータ信号Dがそのクロック信号WCに従ってペッファメモリ11に一旦審徴される。一方、多重化回路12は高次群発振器13の発生するクロック信号CKがついて生成したまったとのクロック信号BCをペッファメモリ11に送っている。パッファメモリ11からはとの該

けるとスタッフィングを実行し、パッファメモリ 11へ供給する競み出しクロック債号RCのペル スモ1個抜いてデータ信号の2度表みを防止する。 受信装置2では、伝送路3より高次群信号を受 信すると、分離回路21で各チャネルの同期化デ ータ信号はモ多重分離してパッファメモリ22に 出力する。また、この分離四路21は何時に、そ れに何期したクロック信号を生成し、書き込みタ ロッタ信号WCとしてパッファメモリ22に供給 する。ペッファメモリ22にはとの書き込みタロ ック信号RCに従って歯配同期化データ信号はが 一旦書教され、電圧制御発掘器25の発生する戦 み出しクロック信号RCに従って原次数多出され る。訳み出されたデータ信号Dはその飲み出し々 ロック信号BCとともに低次齢信号として外部へ 送出される。

一方、位相比較器28はとのパッファメモリ22の書を込みタロック信号WCと読み出しクロック信号BCの位相比較を行ってかり、比較結果を低級が披露24を介して電圧制御発振器25に送る。

世圧制御発掘器 2 5 はどの低級が被器 2 4 の出力信号の電圧値に対応した周波数で発掘し、前記號 み出しクロック信号 R C を生成する。 との位相比較器 2 3 、低級が波器 2 4 かよび電圧制御発振器 2 5 にて形成されるフェーズ・ロックド・ループ (PLL)により、デスタッフィングを増された前記書を込みクロック信号 W C に対して、 連続した説み出しクロック信号 R C がパッファメモリ 2 2 に送られる。

とで、前記送信装置1にかけるスタッフィングは、そのパッファメモリ11の書き込みタクロック信号WCと読み出しクロック信号BCの周波教送が大きなほどスタッとは数多く実施される。また、受信をジフィングを検出してデスタッフィングを検出してデスタッフィングを実施すると、そのパッファメモリ22への信号WCに同期しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出しているパッファメモリ22の酸み出

この発明に係るスタッフ多重変換装置は、送信 製置に、その位相比較器の位相比較結果に基づい てスタッフ率の検出を行い、検出したスタッフ率 とあらかじめ数定された基準値との比較を行って、 その比較結果に基づいて高次群発銀器の出力局故 数を制御するスタッフ率検出回路を持たせたもの である。

#### (作用)

この発明にかけるスタッフ事検出回路は、送信 装置の位相比較額果より低次評信号 の関複数変数によるスタッフ率の変化を検出し、 検出したスタッフ率をあらかじめ設定された発掘を 値と比較し、両者が異なる場合には高次群発過の けい、両者が異なる場合には高次群発過の での出力関連を関連して一定のスタッフ率に制御 すってもスタッフ率が変化せず、従ってジッタ量に も変化がなく安定した通信を行うことのできるスタッフ多重変換装置を実現する。

#### 〔與進何〕

以下、との発明の一実施例を図だついて説明す

ロック信号RCには、一般にジッタが発生する。 とのジッタ量や周波数は、フレーム構成、スタッ フ率、回路構成などによって変動することが知ら れている。

第3回はこのジック量とスタッフ率の関係を示す説明図である。何回に示すように、ジック量は、 スタッフ率の変動に対してスポット的に変化して いる。

#### [ 発明が解決しようとする課題]

従来のスタッフ多重変換装置は以上のように存成されているので、スタッフ率をあらかじめジッタ量の少ない点に設定しておいても、低次群信号の関放数が変動するとスタッフ率が変化してしまうため、ジッタ量が増大して安定した通信を行うことが困難になるという課題があった。

との発明は上記のような課題を解消するために なされたもので、低次群信号の開放数が変動して も安定した進信を行うととのできるスタッフ多重 変換数値を得るととを目的とする。

[課題を解決するための手段]

る。第1図にかいて、1は送信装置、2は受信装置、3は伝送路、11・22はパッファメモリ、13は高次群発振器、12は多重化回路、14・28は位相比較器、21は分離回路、24は低域炉波器、25は電圧制御発振器であり、第2図に同一符号を付した従来のそれらと同一、あるいは相当部分であるため詳細な説明は省略する。

また、15は前配送信装置1内にあって、その位相比較器14の位相比較結果に基づいて低次群信号の周波数変制によるスタッフ率を検出し、そのスタッフ率をもらかじめ設定された基準値と比較して、それが基準値より大きいときには前配高次群発振器13の出力周波数を上げて、スタッフ率が一定となるように制御するスタッフ率検出関略である。

次に動作について説明する。基本的な動作は第 2 脳に示した従来の場合と同様であるので、スタッフ事検出回路15の動作を中心に説明する。

位相比収益14によるペッファメモリ110書

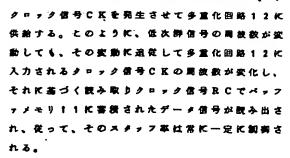
との制御信号CSは、例えば、検出されたスタッフ率が基準のスタッフ率より大きな場合には高次群発振器13の出力周波数を低下させ、検出されたスタッフ率が基準のスタッフ率より小さな場合にはその出力局波数を上昇させるものである。 との制御信号CSを受けた高次群発振器13は、その制御信号CSに従ってその周波数を開発した

#### 4. 図面の簡単な説明

第1回はこの発明の一実施例によるスタッフ多 重変接装度を示すプロック図、第2回は従来のスタッフ多重変接装置を示すプロック図、第3回は スタッフ率とジック量との関係を示す説明図である。

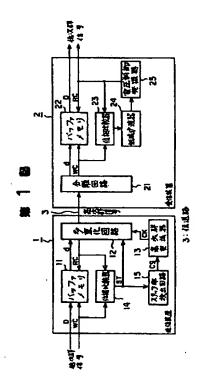
1 は送信装量、 8 は伝送路、 1 1 はパッファメモリ、 1 2 は多重化回路、 1 3 は高次群発振器、 1 4 は位相比較器、 1 5 はスタッフ事検出回路。 なお、 図中、 同一符号は同一、 又は相当部分を示す。

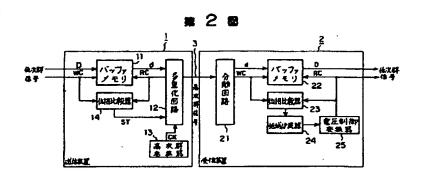
得 許 出 顧 人 三菱電磁株式会社 代理人 弁理士 田 神 神 昭 法派 (外2名)



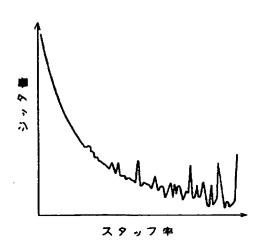
#### [発明の効果]

以上のように、との発明によれば、送信装置何の書き込みタロック信号と読み出しクロック信号と読み出しクロック信号の位相比較結果より低次群保号の周枚数変動によるないでは、検出し、検出した、対して、対して、対した基準値と比較して、対象を対したので、低次群なのというと、対した通信を行うととのできるスタッフ多重変換級値が得られる効果がある。









# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.